

# 村田康成県政活動報告

VOL.2

村田康成事務所

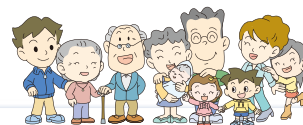
〒314-0408 茨城県神栖市波崎1251 TEL:0479-21-9331 FAX:0479-21-9332



令和2年度第3回定例会一般質問



令和2年度第3回定例会一般質問



1977年8月20日生まれ(43歳)O型  
2012年 神栖市議会議員初当選  
2016年 神栖市議会議員二期当選  
2018年 鹿行広域事務組合議会 議長  
2018年 茨城県議会議員初当選

家 族……妻・両親・愛犬・愛猫  
趣 味……旅行・盆栽  
座右の銘……至誠奉公  
性 格……頑固

Profile



新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に心からお悔やみを申し上げますとともに、罹患された方、社会経済活動に大きな影響を受けている方々に対しまして、心からお見舞いを申し上げます。(会議録より抜粋)

コロナ禍において医療体制・保健所機能の強化はもちろん「withコロナ」という新しい生活様式が求められています。国ではデジタルトランスフォーメーション「DX」(ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させるという概念)を推進し、今後ますます、私たちの生活が変化していくと考えられます。行政もそのニーズにしっかりと対応していかなければならないと考えます。

神栖市 希望  
HOMEがHOPEであふれるように!

## Society5.0先進県を見据えた新しい茨城づくりについて

※Society5.0  
Society5.0とは、国の第5期科学技術基本計画で提言された2030年ごろの新しい社会の姿のこと



今後ますます5GやAIなどの新しい生活様式に欠かせない技術の進化によって私たちの生活が大きく変わるかもしれないなあ

2020年9月  
一般質問

### 村田康成

◎今後、県を含めた行政のデジタル化もますます加速されていくと思われる。だからこそ、今、Society5.0社会とはどのような社会であり、私たちの生活がどう変革し、新たな県民の幸せのためにどのように役に立つのか、また、逆に、どのような危険性が潜んでおり、県民の安心安全な生活を守るために新たな対策は必要となるのか、さまざまな状況を想定し、県民や県内外の民間企業からの新しいチャレンジや相談事に対応できる組織体制の整備とあわせ、真剣な検討に早急に取り組まなければならない。

### 大井川和彦知事

◎本県においては、急激な人口減少や少子高齢化の進

行など、さまざまな困難な課題に直面する中、実用化されつつあるAIやIoT等の新しい技術をいかに社会実装することでSociety5.0を実現していくかが新しい茨城づくりの鍵になると考えている。

なお、県総合計画については、現在の計画が平成30年度から令和3年度までの計画期間であり、計画期間満了後の改定について、来年度以降、新型コロナウイルス感染症の収束状況などを勘案しながら検討していくこととしている。

改定に当たり、新しい茨城づくりに向け、AIやIoT等の先端技術の導入を幅広く進めていくことなど、しっかりとSociety5.0を位置づけていくよう検討していく。

### 新型コロナウイルス感染症への対策について

たとえ感染の波が繰り返し押し寄せても、高齢者や障害者の方々を含めた住民全てが安心できるよう、地域の保健所機能と医療提供体制を常に万全にしておくことが私たちの責務であると考えております。

さらには、コロナ禍における社会経済活動の持続のためにも、迅速かつ適切な治療を受けられる、社会復帰ができるという安心感の保障こそ最も重要なことだと考えます。

2020年9月 一般質問

### 新型コロナウイルス感染症を踏まえた鹿行医療圏の保健所機能・医療提供体制の充実・強化について

村田康成

◎県は、新型コロナウイルス感染症第1波の経験と課題、教訓をどのように認識し、その改善に努めてきたのか。さらに、感染症第2波が広がる中、鹿行地域の住民が安心・安全に生活できるよう、医療機関との連携などを含めた保健所機能の拡充・強化にどのように取り組んでいけるのか、保健福祉部長にお伺いしたい。

県保健福祉部長

◎県においては、感染の状況に応じて必要な人員を速やかに確保できるよう、応援県職員の派遣名簿を作成するとともに、市町村からの派遣保健師には即戦力として活躍いただけるよう、感染症の基礎知識や対応方法等の研修会を開催したところ。  
また、それまで保健所で行っていた入院調整を、県全体で一元的に行う入院調整本部を4月上旬に設置し、感染者の病状や受け入れ医療機関の状況などを踏まえて、医療圏を越えた入院調整を行うこととした。

ここが改善されたポイントなんです

### 神栖済生会病院における医療提供体制の充実・強化について

県は、医師確保計画に基づく医師偏在の解消を、実効性あるものとするとともに、新型コロナウイルス感染症の状況下でも地域住民が安心して医療提供を受けられるよう神栖済生会病院が進める新病院整備に對し、どのように支援に取り組んでいくのか保健福祉部長にお伺いいたします。

地域保健対策の主要な担い手となる保健師については、来年度は増員を図るため、例年よりも採用数をふやす予定としております。

を確保したところだが、残りについても、現在、最大限の努力を尽くしており、ほぼ見通しが立ったところ。

◎また、今年度、新規に策定した医師確保計画において、新たな施策として、県・大学・医療機関が一体となって政策医療を担う医療機関等へ医師を派遣する医師配置調整スキームを位置づけたところである。今後、このスキームにより、鹿行地域を含めた医師少数区域への医師派遣を促進するなど、医師の地域偏在解消に向けた取り組みを実効あるものとしていきたいと考えている。県としては、神栖済生会病院の機能強化を支援することで、鹿行地域の医療提供体制の充実が図られるよう、しっかりと取り組んでいく。

昨年の医師偏在解消の課題が改善されつつある!! 神栖市の医師不足解消につなげたい!!

県保健福祉部長

◎神栖済生会病院においては、ことし1月に就任した新院長のもと、病院改革を推進しており、経営改善に向けて部門ごとに目標を定め、救急車の受け入れ強化や、手術等の診療機能の拡充などに取り組んでいるところであると承知をしている。これらの取り組みにより、4月から7月までの実績では、昨年と比べて手術件数が約2.5倍に増加するなど、地域における急性期医療の受け皿としての機能の強化が図られているものと認識している。  
◎新病院の整備に当たっては、県においても、基本計画の検討の段階から、地元神栖市と連携し、助言を行うほか、施設・設備に要する経費を助成するなど、必要な支援を行っている。  
◎医師確保計画の目標である最優先の医療機関・診療科として、神栖済生会病院の整形外科を選定し、3名の医師確保に重点的に取り組んできた。これまでに、常勤換算で1.5名

### 令和時代における教育の課題と課題改善のための取り組みについて

神栖市においては、毎年、200人以上もの中学校卒業生が県外の高校へと流出し、さらに、200人強が県内の他市の高校へと進学をしています。市内の中学校を卒業した約900人の生徒のうち何と半数以上が、地元地域から離れてしまっているのです。

村田康成

◎今後、私学への助成拡充や中高一貫教育校の新設によって、中学校卒業生たちのさらなる流出が見込まれており、神栖市において生じている県立高校教育の地域格差とも言えるこの状況の要因を、どう分析、どう認識しているのか。そして、今後、その分析結果を踏まえながら、神栖市における県立高校のさらなる学力向上にどのように取り組んでいくのか。

### 地元神栖市の県立高校の課題と更なる学力向上のための取り組みについて

県教育長

◎昨年度の神栖市の中学校卒業生のおよそ4分の1が県外の高校に進学している実態があるが、その原因の一つとして、進学ニーズに応えるための取り組みが必ずしも十分でなかったことが考えられる。こうした中、神栖市内の県立3校が、地域の子どもたちや保護者の方々の期待に応える学校となっていくためには、議員御指摘のとおり、大学進学を目指した学力向上の取り組みを強化していくことが大切であると考えている。県としては、各校が行う教育プロジェクトがより充実したものとなり、広く地域の方々に各校の魅力を知っていただけるよう、計画の段階から指導・助言を行うなどして、神栖市内の県立高校の取り組みを積極的に支援していく。

教育長がここまで言ってくれるからには、これからはっきりとした対策がとられるのかな？まさか、それに逆行するような県立高校の定員削減や統廃合などはないだろうか？

神栖市の子どもたちを県外や他市に行かなくても十分に教育できる環境を作るべきと考えます。

この流出の課題の要因はさまざまであろうかと思いますが、神栖市においては、大学進学を希望する子たちほど他県や他市に行く傾向が強いと思われます。しっかりと調査をしていただきたいと思っております。また、その数が、県外には200人以上、また、お隣の市だとか他市については200人以上、合計400人以上というのは、一つの学校規模に相当するような大きな数字であると思っております。

◎神栖市における他県への中学卒業生の流出につきましては、大変大きな問題であると認識しているところである。その理由の一つが、大学への進学率だと思っている。大学へ進学する学力を身につけるためには、主体的に学びに向かう力の育成が不可欠であり、県立高校の中には、課題解決学習を通して、思考力・論理力などの向上を図り、高い進学実績を上げている学校がある。県といたしましては、神栖市内の3校においても、地域課題を題材にした探究的な学びのノウハウについて助言するなど、今後、積極的に支援をしていく。

※令和1年度、中学3年生の子供の数は約900名



2020年9月 一般質問

# つくば霞ヶ浦 りんりんロードに ついて

2020年9月  
総務企画  
委員会



## つくば霞ヶ浦りんりんロードとは？ 都心から約1時間で行くことのできる 茨城県南部のサイクリングコース！

つくば霞ヶ浦りんりんロードは、旧筑波鉄道の廃線敷と霞ヶ浦を周回する湖岸道路を合わせた、全長約180キロメートルのサイクリングコースです。

本コースでは水郷筑波国定公園に指定されている霞ヶ浦などの水郷地域や筑波山地域などの豊かな自然や風景、鹿島神宮に代表される歴史的・文化的資産など様々な地域の魅力が楽しめます。

## 令和元年11月、 ナショナルサイクルルートに指定

平成30年6月制定の自転車活用推進計画において日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートを国内外へPRを図るために、一定の水準を満たすルートを対象として「ナショナルサイクルルート」に指定するナショナルサイクルルート制度が、令和元年9月に制度化されました。

第一弾のナショナルサイクルルート指定についてその第一弾の指定ルートとして、令和元年11月、琵琶湖を一周する「ビワイチ」、「しまなみ海道サイクリングロード」と並び、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」が、ナショナルサイクルルートに選ばれました。



### 村田康成

◎昨年、しまなみ海道、それから、ビワイチ(琵琶湖の周りのサイクリングロード)とともにナショナルルートに指定されたと思うが、茨城県としてこのナショナルサイクルルートのりんりんロードの今後の展開について教えていただきたい。

### 県地域振興課長

◎昨年、国のほうからナショナルサイクルルートの1つとしてつくば霞ヶ浦りんりんロードが指定していただくことになった。このナショナルサイクルルートというのは、国を代表して世界中からサイクリストないしは観光客を呼び込もうという施策である。これまでソフト、ハード両面で誘客の取り組みをする、情報発信の取り組みをする、そういったことはしてきたけれども、特にインバウンドというものを意識して取り組みを展開していくということが重要になっていくんだと考えている。そういった方々に訴求するような政策というものを、協議会の中で官民一体となって協議をしていくということになるかと思う。



潮来の道の駅から  
神栖のサイクリングロードにつなげるには、  
恐らく10キロメートル程度ぐらい。  
ここがもし整備されたときに、  
日本一の距離を持つ  
サイクリングロードになるのでは？



長さに特化して  
勝負をしていくというのは  
銚子～和歌山までの構想があるので  
やや分が悪いような気が……



潮来と神栖がつながれば  
茨城と和歌山までサイクリングロードで  
つながるかもしれないという夢も  
広がるのでは？



対応を検討して  
いきたいです。

